

「第4次徳島県環境基本計画」の主な改定内容

1 主な改定内容

(1) 将来像及び基本コンセプト

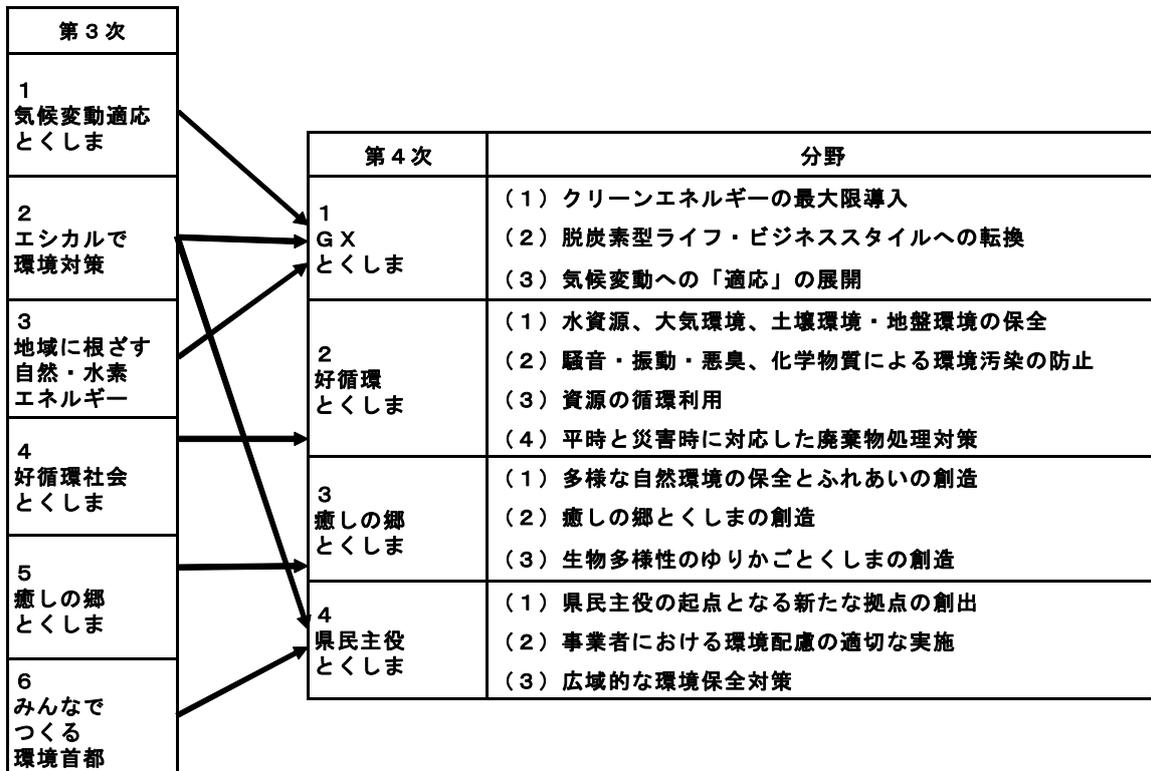
これまでの将来像や基本コンセプトの方針を継承しながら、
「県民主役」の「持続可能（サステナブル）な暮らし、社会」の実現を明記

(2) 重点戦略

これまでの4項目から、「GX（かえる）」「循環型社会（めぐる）」「生物多様性（まもる）」の3項目に集約

現行（第3次）基本計画	第4次基本計画
■目指すべき環境の将来像 健全で豊かな環境を守り、育み、魅力を発信！ 「住んでみたい・ずっと住み続けたい徳島」へ	■目指すべき環境の将来像 美しい環境を守り、継承しながら <u>「サステナブルな新しい暮らし」が実現した徳島へ</u>
■基本コンセプト 脱炭素社会を徳島から実現！	■基本コンセプト 県民が主役となって進める サステナブルな社会の構築
■重点戦略 気候変動に適応した持続可能な社会づくり 環境に配慮したエシカルなくらしづくり 自然・水素エネルギーを活用した脱炭素型のまちづくり 生物多様性が保全・継承されたふるさとづくり	■重点戦略 「かえる」：暮らしをかえる徳島版GXの推進 「めぐる」：全てがめぐる持続可能な循環型社会の構築 「まもる」：地域でまもる生物多様性の継承

(3) 取組展開の体系



- ・第3次計画における気候変動適応策の柱「気候変動適応とくしま」、エネルギー対策や温室効果ガス削減対策の柱「地域に根ざす自然・水素エネルギー」及び「エシカルで環境対策」の一部を整理、統合し、新たに

「GXとくしま」を設定

- ・第3次計画における「みんなでつくる環境首都」を基に、いずれの取組にも共通する取組として「4 県民主役とくしま」を設定
- ・「4つの柱」、「13の分野」及び「48の取組展開」からなる体系を構築

(4) 主な取組内容（新規項目等）】

<GXとくしま>

○脱炭素型ライフ・ビジネススタイルへの転換

- ・太陽光発電設備・蓄電池・EVを「脱炭素・三種の神器」とした県民や事業者への導入促進
- ・充電インフラの整備推進
- ・行政・金融機関・中小企業支援機関等の「地域ぐるみ」による中小企業への脱炭素経営支援
- ・初期費用ゼロ円モデルの「PPA」を活用した、県有施設への太陽光発電設備の率先導入

<好循環とくしま>

○海域における環境保全の推進

- ・海域の栄養塩類管理のための産学官連携の栄養塩類供給の実証実験

○資源の循環利用

- ・家庭ごみやし尿等の資源循環利用の促進
- ・「ボトル to ボトル」や「サステナブルファッション」など、生活に身近な「資源循環」の普及啓発
- ・使用済太陽光パネルの廃棄ピークに向けた対応策の検討

<癒しの郷とくしま>

○絶滅危惧種の保全及び回復に向けた定期的な見直しの実施

- ・「徳島県版レッドリスト」の見直しに向けた調査・検討及び順次改定

○生物多様性リーダーの育成

- ・活動圏域や年齢構成に配慮した生物多様性リーダーの育成

<県民主役とくしま>

○各主体の自主的な取組の促進

- ・民官連携の新たな拠点を中心とした情報発信、普及啓発の促進

等

2 今後のスケジュール予定

令和5年12月	県議会報告【素案】
12月中旬～	パブリックコメント
令和6年2月上旬	環境審議会環境政策部会【案】
2月	県議会報告【案】
3月	計画策定